

【令和4年度 GFPグローバル産地づくり推進事業】  
鶏卵輸送物流構築 仕様書

琉球飼料・瀬底養鶏場・エングループ輸出拡大コンソーシアム

令和4年12月

1. 業務の件名

GFPグローバル産地づくり推進事業 鶏卵船便輸送の物流構築

2. 事業目的

鶏卵の品質を保ちつつ流通コスト低減させる事を目標に、船・エアの両便における所要日数や温度変化、品質等の検証を行う。

3. 実施内容

上記2. 事業目的のために琉球飼料・瀬底養鶏場・エングループ輸出拡大コンソーシアム(以下「本コンソーシアム」とする)が実施する「GFPグローバル産地づくり推進事業 鶏卵船便輸送の物流構築」の内容は以下のとおりである。

- (1) シンガポール向け 船便コンテナ(20RF)輸送 2回
- (2) シンガポール向け エア便輸送 4回
- (3) シンガポール現地での鶏卵微生物検査 2回

4. 委託内容

本業務の委託内容は、上記3. 実施内容にかかるすべての業務であり、以下のとおりとする。

(1) シンガポール向け 船便コンテナ(20RF)輸送にかかるすべての業務

- ① 沖縄発シンガポール向けの20フィートリーファー便に鶏卵サンプル1パレット(40ctn)とデータロガーを搭載し2回輸出すること。  
※サンプルの鶏卵については、(株)エングループ沖縄が手配する。  
※できる限り所要日数が短い船社を選定すること。

- ② 沖縄出港からシンガポール到着までの所要日数、荷崩れの有無、鶏卵の状態の確認、及びデータロガー結果の分析を行うこと。

(2) シンガポール向け エア便輸送に係るすべての業務

- ① 沖縄発シンガポール向けのエア便に鶏卵サンプル1パレット(40ctn)と蓄冷材/ドライアイス及びデータロガーを搭載し輸出すること。  
※サンプルの鶏卵については、(株)エングループ沖縄が手配する。
- ② 蓄冷材を搭載した便を2回、ドライアイスを搭載した便を2回出荷し、パレット内で温度のムラが無いか、温度が適正なのか、蓄冷材とドライアイスそれぞれのメリット、デメリットを分析すること。

(3) シンガポール現地での鶏卵微生物検査

- ① 船便にてシンガポールに到着した鶏卵の微生物検査および菌検査を行うこと。  
(サルモネラ菌・セルウス菌・黄色ブドウ球菌・大腸菌群・その他一般生菌)

(4) 共通の項目

- ① 上記(1)～(3)に係るすべての業務をとりまとめること。
- ② 記録用写真撮影  
沖縄でのバンニング、シンガポール現地でのデバンニング、品質チェック時の記録写真を撮影すること。
- ③ 事業完了報告書の作成  
事業終了後は A4 カラーで印刷された報告書を提出すること。また、報告書の電子データはメールにて本コンソーシアムへ提出すること。
- ④ その他、本コンソーシアムと協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

5. 契約期間

業務委託契約締結の日から令和 5 年 2 月 28 日(火)

6. 注意事項

- (1) 本仕様書に記載の業務内容については、実施段階において予算や諸事情によって変更することがある。
- (2) 本仕様書に定めのない事項及び記載内容の詳細については本コンソーシアムが委託者と協議のうえ決定する。

**【問い合わせ・書類提出先】**

琉球飼料・瀬底養鶏場・エングループ輸出拡大コンソーシアム 事務局

担当:石川 里奈(いしかわ りな)、末吉 二葉(すえよし ふたば)

メール:石川 [lina@en.com.hk](mailto:lina@en.com.hk) 末吉 [futaba.enokinawa@gmail.com](mailto:futaba.enokinawa@gmail.com)

電話:098-862-9853 FAX:098-862-9862

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 2-14-13 澄和 NAHA ビル 5 階